

ID No.	2106
研究課題名	ゲノムワイド関連解析による尿道下裂、停留精巣発症関連遺伝子の探索
研究代表者	小島 祥敬 (福島県立医科大学・教授)
研究組織 受入教員 研究分担者	谷川 千津 (東京大学医科学研究所・助教) 胡口 智之 (福島県立医科大学・助教) 松田 浩一 (東京大学・教授)
研究報告 平成 29 年度は、停留精巣 300 例の組織より DNA を精製し、既報の遺伝子のタイピングを実施した。今後コントロールのタイピングを進め疾患リスクとの関連を検討する。また尿道下裂と関連を示した SNP について、遺伝子発現との関連を検討した結果、HAAO 及び IRF6 について女性生殖器を含む複数の組織で有意な相関をしめした。またマウスの胎児検体を用いて対象遺伝子の発現を確認した所、男性生殖器での発現が確認された。これらの結果より、今回解析対象の多型は遺伝子発現調節を介して疾患リスクに関与することが示唆された。	